



www.narpi.net
admin@narpi.net
82.70.8817.8690

東北アジア地域平和構築インスティテュート (NARPI) 2013夏季トレーニング報告

東北アジア地域平和構築インスティテュート (NARPI、ナルピ)の第3回夏のプログラムが、8月5日から19日にかけて開催されました。NARPI(ナルピ)は2011年に韓国のソウルとインジェで開催され、2012年には広島で開催されています。今年度は、中国本土、香港、日本、モンゴル、ニュージーランド、韓国、台湾から計34人がプログラムに参加しました。参加者は、自分の地域で活用できる平和構築のスキルを学ぶことに興味を持つ学生、インストラクター、宗教指導者、非政府団体のスタッフです。

2週間にわたるプログラムは、嚴重に軍備化された北朝鮮との国境にほど近い、ガンラン県インジェ郡のDMZ平和と生命の谷センターで開催されました。NARPI(ナルピ)ディレクターであるイ・ジェヨン(李在暎)は、「韓国と北朝鮮の停戦60周年にあたる今年、NARPI(ナルピ)をインジェのDMZ平和と生命の谷センターで開催することには非常に意義がある。この場所は東北アジアでの対立を象徴するところだ」と述べました。

今年度は各週3つのコースが開講されました。1週間目は、「紛争と平和のフレームワーク」、「トラウマ意識



参加者の一人が準備したアクティビティーで腕を組みあう「平和教育の理論と実践」のクラスメートたち。

とヒーリング」、「平和教育の理論と実践」、2週間目は「修復的正義:ヒーリングと和解を目指して」、「ジェンダー:平和と生活の安全」、「非暴力コミュニケーションとファシリテーション」のコースが行われました。「トラウマ意識とヒーリング」のクラスは韓国語で催行されましたが、その他のクラスは英語で行われました。英語で開講されたクラスには「言語サポーター」が配置され、助けを必要とする参加者に複雑な概念の理解や英語の表現のサポートを行いました。コースのファシリテーターは、オーストラリア、カナダ、香港、日本、韓国の教授や活動家であり、その多くはNARPI(ナルピ)運営委員会のメンバーです。

コース以外の時間では、文化と平和構築の経験について共有するための交流会やイベントも設けられました。NARPI(ナルピ)の慣習として毎年週に一回に行われる夜の文化紹介イベントでは、各地域・各国の歴史、文化、音楽、歌やダンスなどが参加者によって発表されました。文化的背景が異なった参加者らが歌やダンスを共に習得し、お互いの文化に対して新しい見解が得て、笑顔に溢れたイベントになりました。

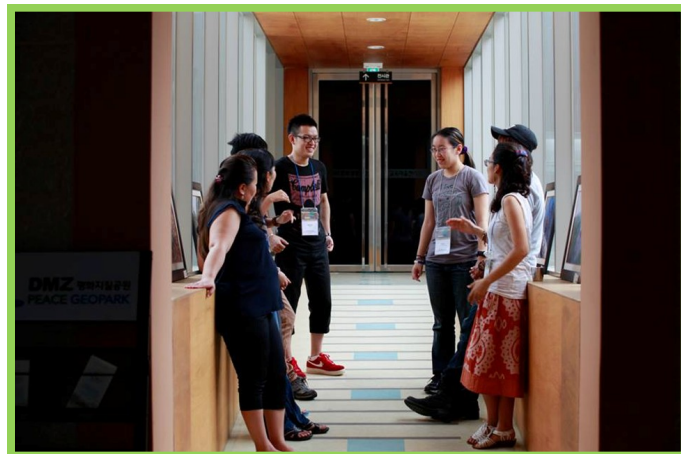


3日間の現地視察は参与連帯 (PSPD) を含むソウルの NGOに訪れた。



モンゴル出身の参加者が夜の文化紹介イベントに備え伝統的なダンスを指導する。

今年の夏プログラムでは非武装地帯の半日視察とパネルディスカッション、テジョン村で3日間滞在とソウルでのNGO訪問という3つの現地視察が行われました。8月11日、DMZ平和と生命の谷センターの平和教育コーディネーターであるパク・ジュンスの案内で非武装地帯内にある展望台や第四トンネルを見学しました。パクさんは、非武装地帯の環境、市民生活や個人的な経験について夜に行われた講座で話しをしました。



「紛争と平和のフレームワークの参加者」がDMZ平和と生命の谷センターの廊下で話し合う。

テジョン村への現地視察では、平和と修復的正義のプログラムを実践している学校を訪問し、教師や生徒たちの話を聞きました。第二次世界大戦の日本軍慰安婦制度の被害者の移住施設があり、博物館を併設しているナヌムの家も訪問しました。

そして最終日には、ソウルで平和構築に取り組んでいるYMCAと参与連帯を訪問しました。NGO訪問後、参加者は観光やショッピングを楽しみました。

その夜、NARPI(ナルピ)での経験の振り返りを参加者全員で行いました。香港出身のチョイ・カホ(オリバー)はこの場でNARPI(ナルピ)での経験は「日々の生活やコミュニティー、地域で起こる争いの調停を行



ナヌムの家で参加者らがハルモニ（第二次世界大戦中の性的奴隷制度の生存者の女性たち）を囲む。

うの役に立つ」と語りました。また、韓国出身のパク・ユンヨンは「世界中の人たちと出会って、共通の夢である平和について理解できたこと」がNARPIの経験の中で一番実りがあったことだと語りました。

NARPI(ナルピ)は東北アジア地域で活動している様々な平和団体によって運営されています。NARPI(ナルピ)の運営には、コリア平和構築インスティテュート、ピースボート(日本)、ピース・イン・チャイナ、トランスエンド研究会、非暴力平和隊・日本、ピースミッションセンター(日本メノナイトキリスト教会)、ブルーバナー(モンゴル)、台湾和平草根聯盟が関わっています。今年のプログラムはメノナイト中央委員会、武力紛争予防のためのグローバルパートナーシップ(GPPAC)東北アジア、コリア平和構築



テジョンの学生とNARPI(ナルピ)の参加者が力を合わせてアクティビティーを行う。

インスティテュートの支援、そして個人や宗教団体からの寄付によって開催されました。NARPI(ナルピ)は個人や団体の少額の寄付によって支えられていま

【NARPI(ナルピ)ウェブ】

NARPI(ナルピ)に関するさらに詳しい情報についてはウェブサイト(www.narpi.net)、または、Facebook (<http://www.facebook.com/narpipeace>) へアクセスしてください。今年度はカメラマンとドキュメンタリー作家がプログラムを記録しました。彼らの写真やビデオは、ウェブサイトやFacebookでご覧ください。

【参加しよう！】

NARPI(ナルピ)親善大使：今年度の参加者の多くはNARPI(ナルピ)について報告会やプレゼンテーションを自分が住む地域で行っていく予定です。NARPI(ナルピ)についてのプレゼンテーションの開催を希望する方はadmin@narpi.netまでご連絡ください。

財政支援：NARPI(ナルピ)への寄付についてあなたの学校、職場や宗教コミュニティに話をしてみてください。NARPI(ナルピ)への寄付に興味のある方はadmin@narpi.netまでご連絡ください。

2014度NARPI(ナルピ)：来年度の夏季トレーニングの応募書類は2014年5月頃にウェブサイト上で発表される予定です。来年度の開催地は未定ですが、東北アジア地域の全ての人に参加できるように、NARPI(ナルピ)のプログラムは持ち回りで東北アジアの異なる場所で開催されています。



「トラウマ意識とヒーリング」の参加者が自分のコミュニティの中でのヒーリングについてのエピソードを語り合う。

す。個人同士のつながりが、平和構築を目指す人々が出会い、学び、成長し、東北アジアで平和の文化を築くNARPI(ナルピ)を持続させていきます。

